2016 BOOK TALK in 関西

共催　出版労連大阪地協・出版ネッツ関西

「BOOK TALK in 関西」は、例年出版労連が主催する「関西出版技術講座」の代替企画で、出版について考えるイベントです。

本って
どうやって
読者に
届けるの？

自分で
本を作って
売りたいんだ
けど…

これからも
本が大好き♡
色あせない本

いま
だから。
本屋さん
楽しい！

活字離れ
といわれて
ウン１０年。
ホントは？

本が売れない、
読まれてない
って本当？
今出版業界に何が
起こっているの？

© youtodesign.com

テーマ　私たちの「本と本屋の未来」を考える

語り手　① **豊田政志 氏**　出版サービス Wille（ヴィレ）代表・出版ネッツ組合員

「本の周辺とウラ側、語ります～元出版取次業者の出版流通ばなし」

② **大井達夫 氏**　忍書房　店主・開隆堂労組

「売る・買う・送る　街の本屋さんの今と次代の出版」

日時　**2016 年 10 月 1 日（土）13:30～17:00**（受付 13:15～）

会場　**弁天町 ORC200 生涯学習センター（第２研修室）（定員 50 名）**

参加費　2,000 円（ただし、出版労連の組合員は 1,500 円、学生は 1,000 円）

★参加費には資料代も含まれています。参加費お支払いは当日会場にて。
★学生の方は学生証をご持参ください。
★**講義終了後、「交流会（自由参加／有料：実費）」を開催の予定。**こちらもふるってご参加ください。当日、ご案内します。

語り手・アクセス・申し込み方法の詳細は裏面に

＜語り手＞

出版物の卸売業種である出版取次会社に勤めていた自費出版編集者の豊田さん。本が読者に届くまでのイロハと、本の周辺の新しい動き(自費出版、古書店、即売会、海外事情など)を思いのままに語ります。自費出版・リトルプレスなどに興味ある方は必聴。また、本をめぐる形を自費出版編集者ならではのユニークな視点で解き明かします。

大井さんは、出版社に勤めながら、土日は受け継いだ街の本屋「忍書房」で店主をされています。本を売ることの楽しさ、街の本屋の現状を語ります。本が売れないと言われていますが、出版社・取次・書店の何が問題かを丁寧に解説します。

＜アクセス＞

大阪市港区弁天 1-2-2-700（オーク 200 ビル内 2 番街 7 階）

〇地下鉄

地下鉄「弁天町」駅西口②A 出口から ORC（オーク）200 への連絡通路を通り、中央エレベーターで 7 階へ（約 200m）

〇JR 環状線

JR 環状線「弁天町」駅から ORC（オーク）200 への連絡通路を通り、中央エレベーターで 7 階へ（約 200m）

（申込みはFAX、メール、HP、いずれにてもOK！　語り手への質問等あれば書き添えてください）

2016 BOOK TALK in 関西　申込用紙

2016 年　　月　　日

【問合・申込先】 出版労連・大阪地協　担当：濵名、永石
〒543-0052 大阪市天王寺区大道 4-3-25　株式会社新興出版社啓林館　労働組合事務所内
Tel：06-6779-1531（会社代表）／Fax：06-6775-4184
e-mail：k.hamana.union@gmail.com
WEB から：「2016 BOOK TALK in 関西」で検索。※こくちーずに申し込みサイト有り

★会場の都合上、定員 50 名になり次第、締め切らせていただきます。お申し込みはお早めに！

所属団体・組織名（無記入でも結構です）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご連絡先（電話・FAX・ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ等）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご参加者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※受講料領収書〔 要 ・ 不要 〕←いずれかに〇印を！
※語り手の方への質問や話してほしい事柄などがあればお書きください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿